

悠久

第58号 October 2021

本号の内容

- | | |
|---|--|
| ① 岡山県日中教育交流協議会の活動への思い | 岡山県都市教育委員会教育長協議会 会長 井上正義
倉敷市教育委員会 教育長 |
| ② 日中青年交流事業
～交流は海を越えて～ | 岡山県立東備支援学校 中学部教頭 吉田 宏 |
| ③ 英語と論語でFriendship
～上海市奉賢区思言小学とのオンライン交流～ | 就実小学校 校長 山部英之 |
| ④ 新しい形の交流を模索して | 岡山県日中教育交流協議会 大川 泰栄 |



閑谷学校講堂

岡山県日中教育交流協議会の活動への思い



岡山県都市教育委員会教育長協議会 会長
倉敷市教育委員会 教育長

井上正義

今夏、東京でオリンピック・パラリンピックが開催され、各国のアスリートの活躍、試合後にお互いをたたえ合う姿、大会ボランティアや地元の方々が見守る「おもてなし」する様子など、連日拝見をさせていただきました。開催については多くの困難があったことと想像されますが、様々な瞬間を通して、世界中の多くの人々が心躍らせ、感動を分かち合ったのではないのでしょうか。

現代社会は、交通手段の発達、情報通信技術の進展により、様々な情報や出来事がリアルタイムに世界的で共有されるなど、その利便性が高まる一方で、新型コロナウイルス感染症対策、SDGsへの取組の充実など、世界的規模の課題も発生しています。今後の予測困難な時代を生きる子どもたちには、以前にも増して国際的協働のための資質が求められ、子どもたちの教育にはグローバル化の中で伝統や文化を尊重しつつ、多様な他者と協働しながら目標に向かって挑戦する力の育成が不可欠となっています。

今年度改定された第3次岡山県教育振興基本計画においても、「国際的に活躍できる人材の育成」として、グローバル人材の育成の基盤となる語学力、コミュニケーション能力、優れた国際感覚、異文化を理解する精神等を身に付けた人材の育成をめざし、「児童生徒の英語力の向上」「海外留学や国際交流の促進」「我が国や郷土の伝統・文化を理解する教育の推進」に重点的に取り組むことが示されています。

岡山県都市教育委員会教育長協議会としても、「国際的に活躍できる人材の育成」は、県下都市教育委員会相互の緊密な連携の下、その充実や進展に努めるべき取組と考えており、その中で、長年にわたり中国との青少年教育交流を通じ、子どもたちに貴重な機会と経験を与え、ともに、多くの国際人を育成した岡山県日中教育交流協議会の御功績につきまして、敬意を表しますとともに感謝を申し上げます。

昨年度より、様々な制限下での活動を余儀なくされる状況が続いておりますが、一刻も早く新型コロナウイルス感染症が収束し、本来の人と人の触れ合いや体験を通じた有意義な国際交流活動が再開され、本協議会が益々発展されますことを心よりお祈りいたします。

日中青年交流事業

～交流は海を越えて～

岡山県立東備支援学校

中学部教頭 吉田 宏

はじめに

本校は、岡山県南東部に位置し、知的障害のある児童生徒を対象とした特別支援学校です。備前市・瀬戸内市・赤磐市・和気町・岡山市の一部の四市一町を通学区域としており、東備地域の特別支援教育のセンター的役割を担っています。

昭和六十年の開校以来、自然豊かな環境と、歴史ある文化や伝統工芸等の地域性を生かした学習に取り組んでおり、地域の温かいご支援のもと、登り窯による備前焼制作をはじめ、農産物、手芸品等、生徒が作業学習で製作した商品の販売や環境美化活動、近隣の施設や事業所での体験学習等を行っています。

今年度は、小学部四十名、中学部二十一名、高等部五十九名、計百二十名でスタートしました。卒業後の豊かな生活に向け、「地域の中で、地域とともに、地域のために」を合い言葉に、主体的に学ぶ意欲や自立につながる力の育成を目指しています。

また、ICTを活用した教育にも力を注いでおり、タブレットを利用した学習を進めているところです。そのような中、昨年度は、上海奉賢区恵敏学校とオンライン交流会を行うことができました。特別支援学校同士の交流は初めてとのことで、機会を提供してくださった岡山県日中教育交流協議会、上海奉賢区恵敏学校及び関係者の皆様には感謝しております。

第一回交流会

期日…令和三年一月十四日(木)

十四時三十分～

十五時三十分(日本時間)

内容…出席者紹介、日中双方挨拶、学校紹介、生徒挨拶、記念撮影(スクリーンショット)

第一回目は、日中双方の学校管理職や関係者が参加し、フォーマルな雰囲気での交流が始まりました。恵敏学校は日本の小中学校の学齢に相当する児童生徒が学習をしていました。動画では、整備さ



スクリーンショットによる記念撮影

れた校舎の中で、体操や機能訓練をはじめ様々な学習に取り組んでいる様子が紹介され、迫力ある太鼓の生演奏もありました。本校の紹介では、登下校の様子や生活単元学習、作業学習などの映像を見ていただきました。また、協議会のお力添えを得て、空撮を取り入れた素敵な学校紹介動画も完成しました。本校ホームページ上にアップしてまいりますので、是非ご覧ください。

また、双方の代表生徒による挨拶もあり、第二回目の交流に向けて期待の高まるものとなりました。

●第2回交流会

期日：令和三年三月八日（月）

十時三十分～

十一時三十分（日本時間）

内容：生徒作品紹介

恵敏学校：版画、刻紙

（切り絵）

東備支援学校：絵画

クイズと質問コーナー、

歌唱：世界に一つだけの花

（中国名：世上唯一的花）

集合写真

（スクリーンショット）

日本では年度末、中国では春節があけた後、第二回目の交流会が行われました。二回目は、生徒同士の交流を中心に行いました。恵敏学校の作品紹介では、下絵に沿って細かい作業を進めている様子が生配信され、その緻密な仕上がりに思わず拍手が送られる場面もありました。クイズでは、岡山県や備前市にちなんだ果物や刀剣に関する問題を本校生徒が三択で出題しました。私たちには簡単に思える問題も、恵敏学校の生徒さん達には少し難しかったようで、○×の判定の度のため息や喜びの歓声が上がりました。生徒が将来の夢について質問に答えるコーナーもあり、海を隔ててはいても、日中それぞれの生徒が自立に向けて頑張ろうとしていることに双方の会場から拍手が送られました。

今回の交流の記念に、本校から備前焼やさりを織りなどの作業学習の製品を贈りました。そのお返しとして版画、切り絵、ビーズ細

工などの作品をいただきました。恵敏学校の先生方は、日本の特別支援学校で行われている作業学習をはじめとする教育課程や指導形態についても関心を持たれたようでした。



恵敏学校から送られた版画、切り絵、ビーズ作品

●おわりに

これまで、交流学习と言えば近隣の学校と行き来してということを中心でしたが、今回の経験を踏まえ、インターネットを介して日本中どこでも、さらには世界と交流できることを再認識しました。本校は中学部の生徒が参加しましたが、中国について事前学習も行ったが、中国について知ることができました。自分たちが暮らしている地域から国、世界へと視野が広がったように思います。

今回は日中交流、しかも特別支援学校同士としては初めてということ、少なからず不安な面もありましたが、岡山県日中教育交流協議会事務局の方々のおかげでスムーズに実施することができ、改めてお礼申し上げます。



「英語と論語でFriendship」

—上海市奉賢区思言小学とのオンライン交流—

就実小学校

校長 山部 英之

【はじめに】

就実小学校は岡山県岡山市中区の就実大
学内に位置し、二〇一五年四月に開校した
児童数二百六十一名の新しい学校です。本
校は、Math（算数）、PE（体育）、Art
（図工）、English（英語）等の教科を英語
で行う英語イマージョン教育を推進してお
り、小学校卒業時には高校中級程度以上
（英検準二級レベル）の英語力習得を目標
にしています。

学校教育目標は、「知者は惑わず」「仁者
は憂えず」「勇者は懼れず」という論語を
基に「かしこい子（知）」「やさしい子
（仁）」「たくましい子（勇）」「誠実に生き
る子」と掲げ、「グローバル社会の担い手
として、未来をつくる子供の育成」を目指
しています。

このような本校の特色である英語と論語
を柱にしたオンラインによる国際交流を希
望していたところ、岡山県日中教育交流協
議会より上海市奉賢区思言小学をご紹介
いただきました。思言小学は、本校と同じ二
〇一五年九月創立、生徒数九百八十五人、
孔子の弟子子遊（しゆう）の教えや伝統的
な中国文化を継承することを使命としてい
る学校です。

本校では、次のような目標（ゴール）を



就実小学校 学校紹介ビデオ（英語）



英語で質問 就実小学校より

【オンライン交流の実際】

設定して交流を計画しました。
（一）英語イマージョン教育実践校として、
中国の小学生と英語を活用して交流を行
い、英語に対する興味や関心を喚起する。
（二）論語を通して我が国や中国の文化に対
する関心を高め、お互いに理解を深める
とともに、近隣国である中国の小学生と
将来に向けての友好関係を築こうとする
態度を養う。

第一回は四月十三日（火）に両校の校長
同士がお互いの学校紹介や初対面の挨拶等
を交わしました。そして第二回は、四月二
十七日（火）に思言小学の四年生代表、就
実小学校の六年生四十八名が交流しました。

【第二回交流会プログラム】

- （一）出席者紹介
- （二）就実小学校六年生自作の学校紹介ビデオ
（英語）発表
- （三）思言小学四年生による学校の特色ある授
業紹介、歌曲、箏、劇等中国文化発表
- （四）英語による質問交流
- （五）論語の朗読

就実小学校（日本語）

子曰く 知者は惑わず
仁者は憂えず 勇者は懼れず

思言小学（中国語）
子曰 知者不惑
仁者不憂 勇者不懼
（六）集合写真撮影

【児童の感想】

《就実小学校六年生》

今回、私はここまで中国の文化を知
ることができるとは思っていませんで
した。思言小学のみなさんのダンスや
箏、歌や趣味など色々なことを見せて
もらうことができ、すごく楽しく、よ
く学べた時間だったと思います。お互
いの学校の友好を深めることができ、
とてもうれしかったです。新型コロナウ
イルス感染が収まったら、実際に会って
中国語や英語などでおしゃべりしてみ
たいです。

中国語で唱えた論語と日本語で唱え
た論語は、同じ意味なのに実際に聞い
てみたら、発音がすごく違っていて、
「こんなに違いがあるのか」と本当に驚
きました。中国語の論語を聞くことが
できてうれしかったです。またもう一
度中国語の論語を聞いてみたいです。
ありがとうございました。



《思言小学4年生》

～ 中日交流活動后感想汇总 ～

就実の小学生との交流はとても心に残り、新しい発見がありました。またオンライン交流をしたいです。そして、同じアジアの人として、もっともっと仲良くなりたいです。将来は英語でコミュニケーションを深め、友達になれるといいですね。



お互いに論語を唱和



思言小学 歌曲発表

日本の小学生に私たちの学校や中国の文化を紹介することができてとても光栄です。明るく笑顔、手を振る様子、そして愛情のこもった言葉から、この交流会は大成功だったと感じました！



お互いに論語を唱和



思言小学 箏 演奏



交流お別れの場面

今回の思言小学の皆さんとのオンライン交流は、岡山県日中教育交流協議会、上海市人民対外友好協会、上海市奉賢区外事局・教育局の方々、思言小学の校長先生や先生方、児童の皆さんなど多くの方々のご支援ご協力により実施することができました。心より御礼申し上げます。

皆様のおかげで、本校の六年生は心に残る貴重な体験をすることができました。私は、子供たちがこの体験をこれからの人生に生かし、グローバル社会の担い手として成長してくれることを願っています。今後も、英語と論語を共通のテーマとして交流を進め、近隣国である中国の小学生と、将来に向けての友好関係を築こうとする態度を育てていきたいと考えています。

【おわりに】

新しい形の交流を模索して

岡山県日中教育交流協議会

◆今までの交流は

岡山県日中教育交流協議会は、二十年以上にわたり高校生の日中教育交流を支援してきました。県内の高校生有志を募り、訪中団を組織して高級中学（日本の高等学校）を訪問し、授業を受けたり、ホームステイをお願いしたりする中、充実した交流を実施出来たように思います。中国からも同様に訪日団が来岡してきました。

こうした交流の中で、改めて中国に興味を持ち、進路に生かした生徒や仲間とのコミュニケーションに新たな可能性を見つけた生徒など若い感性で多くのものを学び、同時に同じ年代の中国人生徒との交流によって、今までの見識をがらりと変えた生徒もいました。中国側にとっても同様で、岡山訪問後の感想には、信号を守る日本人の姿、ごみのない街の道路などに感動したなどの文章がありました。

こうして、順調に進んでいた交流ですが、コロナ禍によって方向転換を余儀なくされました。

◆令和二年度からの交流

コロナ禍の中、海外への渡航が大

きく制限を受ける中、交流を中止するのは簡単ですが、一度途切れた交流の再開には莫大なエネルギーが必要で、何とか異なる形でも交流を継続しよう考えました。こうした中、リモートならば、交流が継続できること、高校生に限らず、中学校、特別支援学校、さらには小学校でも交流が可能ではないかと考えました。こうして始まったリモート交流ですが、様々な問題がありました。

まずは、資金面です。本協議会の活動は、全て会費及び助成金や補助金に頼っています。そこで、令和二年度の補助金、助成金を予定していた各団体に確認したところ、目的は変わらないので、交流のための新しい機器の購入、通訳の依頼、機器操作の依頼なども可能であるとのご理解をいただきました。これを契機に、今までの事業には参加者の少なかった県北部の学校にもご提案し、以前から全校生徒がクロームブックを持ち、授業に活用する、海外の学校と交流の進めていた実績のある林野高校にご参加していただくことになりました。（詳細は悠久五十七号掲載）

更に、特別支援学校など今まで交流のなかった学校まで機会を広げる

◆リモート交流の実態

このように、地理的、経済的に実際の交流が厳しい場合もリモートならば交流が可能です。これを大きな利点ととらえ、各校種の学校の交流に取り組みました。

◎岡山県立岡山南高等学校

『芸術をキーワードとして』

◎岡山県立林野高等学校

『文化交流を目指して』

◎岡山県立東備支援学校

『交流は海を越えて』

◎就実小学校

『論語教育を契機として』

教員の働き方改革が言われる中、学校の負担感なく交流を実施するため、通訳を配置し機器操作や現地との調整は全て協議会側で担当しています。これからもこの事業を継続したいと考えています。希望の学校は、ご連絡ください。

今後も、様々な形を模索しながら日中の教育交流に取り組み、グローバルな視点をもった教育を支えることができればと考えています。ご協力をお願いします。

（文責事務局 大川 泰栄）



リモート 日中青少年交流サポート

STUDENT 2021 EXCHANGE

岡山県日中教育交流協議会では、平成17年より上海や大連との相互往来による青少年交流事業《STUDENT EXCHANGE》を実施し、これまで主に高校生を中心として、のべ300人の日中青少年相互交流を実施してきました。
昨年、県立の林野高校や岡山南高校、東備支援学校等が上海市の高校や支援学校とオンラインで結び、リモート交流会などを行いました。これまで培ってきたネットワークを活かして、相手校の選定をし、リモート機器の調整から通訳の派遣を含めたトータル支援体制で、交流をサポートさせていただきます。

インターネットで結ぶリモート交流



岡大付属中学校—洛陽外国語学校



林野高等学校—上海惠敏高級中学



岡山南高等学校—上海陸行高級中学



東備支援学校—上海惠敏学校



上海惠敏学校の生徒が太鼓演奏

協議会の支援内容

1. 交流相手校の紹介
上海市、洛陽市、天津市、北京市などの対外友好協会を通じてご紹介します。
2. 交流にあたってのサポート
(1) 事前協議、進行確認
(2) 機器調整、音声や画像の確認
(3) 中国側との連絡
(4) 通訳の派遣
3. 事前学習実施と講師の派遣
最近の中国事情、日中関係史、簡単な中国語レッスンなど1時間程度
4. 費用負担
本事業は（一財）岡山県教育職員互助組合、（公財）福武教育文化振興財団の助成により実施しますので学校の負担はありません（但し、予算の範囲内で実施）
【学校へのお願い】
1. 取り組み目標の設定
2. 担当者の決定、生徒への事前学習等

《主催》岡山県日中教育交流協議会
 《助成》一般財団法人 岡山県教育職員互助組合、公益財団法人 福武教育文化振興財団
 《後援》岡山県教育委員会
 《協力》上海市人民対外友好協会、洛陽市人民対外友好協会、岡山市日中友好協会

◆お問い合わせは

岡山県日中教育交流協議会 事務局
〒700-0902 岡山市北区錦町5番15号 南田辺ビル2階 (担当：大川・松井)

TEL.086-225-5083
FAX.086-225-5041
メール：oknittyu@yahoo.co.jp



bene(よく)+ esse(生きる)
Benesse=「よく生きる」



株式会社ベネッセホールディングス
〒700-0807 岡山県岡山市北区南方3-7-17
<https://www.benesse-hd.co.jp/>

学校法人 加計学園

岡山理科大学

2022年4月、2学部1コース新設！

理学部（応用数学科、基礎理学科、物理学科、化学科、動物学科、臨床生命科学科）

工学部（機械システム工学科、電気電子システム学科、情報工学科、応用化学科、建築学科、生命医療工学科）

NEW 情報理工学部（情報理工学科）＝情報技術と機械制御技術分野を融合！

NEW 生命科学部（生物科学科）＝生物の力で暮らしを豊かにする！

生物地球学部（生物地球学科）

教育学部（初等教育学科、中等教育学科）

経営学部（経営学科）

獣医学部（獣医学科、獣医保健看護学科）

NEW アクティブラーナーズコース＝岡山キャンパスの全ての授業が履修できる！

岡山キャンパス

〒700-0005 岡山市北区理大町1-1

今治キャンパス

〒794-8555 愛媛県今治市いこいの丘1-3



岡山県日中教育交流協議会とは、

- 1 学校、団体、個人を会員とする民間団体です。
- 2 会費は、年会費（4月～翌年3月）です。
団体（教育委員会・学校園）・・・3,000円、個人・・・2,000円
- 3 主な活動内容は、
 - (1) 中国との教育交流（リモート交流での技術面のサポートも含みます。）
 - (2) 交流校の紹介、講師の派遣、各種資料の提供、教育事情調査団派遣等
 - (3) 会報「悠久」の発行（県内小中学校、高等学校、教育委員会へ無料配布）
 - (4) 日中青少年交流事業－STUDENT EXCHANGE 事業－
 - (5) 交流活動発表会開催や教育交流実態調査等

岡山県教育交流協議会は、会費と助成金、補助金で活動しています。
この機会に、是非ご入会ください。

お悔み

本協議会の初代会長で、特別顧問の森崎岩之助氏が本年9月26日に86歳でお亡くなりになりました。森崎氏は、青少年の日中交流を支援する活動を進め、岡山と中国との教育交流、青少年交流を促進し、日中友好を発展させることを目指して岡山県日中教育交流協議会を設立され、当初から運営に深く関わられました。森崎氏の先見の明とご尽力がなければ本協議会は現在のような形には発展していなかったものと思われまます。ここに、森崎岩之助氏に深く感謝するとともに、ご冥福を心からお祈りいたします。

岡山県日中教育交流協議会 会報『悠久』第58号

発行：令和3年10月／発行者：岡山県日中教育交流協議会 編集委員会
〒700-0902 岡山市北区錦町5-15 南田辺ビル2階 TEL (086) 225-5083/FAX (086) 225-5041